

二小の風

学校通信



10月号

令和元年10月1日
天理市立二階堂小学校

文責 北野 博康

<http://academic1.plala.or.jp/nisyo/>

ラグビーワールドカップから学ぶこと

残暑が厳しかった9月ですが、教室もようやくエアコンを使用せずに過ごせるようになりました。例年でしたら、運動会の練習に慌ただしい生活の毎日ですが、今年度は、落ち着いて学習に取り組むことができます。

さて、今、日本で開催されているラグビーワールドカップですが、日に日に盛り上がりを見せています。

ラグビーは、大きな選手が体ごとぶつかる激しいスポーツです。猛スピードで突進してくる大きな選手にタックルするには、相当の勇気が必要です。



そんな選手たちは、チームは家族であり、家族のために自分がタックルにあって犠牲になることは当たり前であると言います。トライをあげた選手も自分の活躍ではなく、みんながつないでくれたからと仲間をたたえます。

また、「ノーサイド」という言葉があり、ゲームが終わったら、敵、味方なく、互いに激しく戦った相手チームの健闘をたたえ合いです。それは、グラウンドだけでなく、応援している観客も同じです。

今の世の中、個人のことしか考えないことが多い中、誰かのために働けることや互いを認め合えることなど、ラグビーから学ぶことは多いのではないのでしょうか。

奉仕作業ありがとうございました

9月7日（土）に行われましたPTA奉仕作業では、大変暑い中、早朝よりたくさんの方にご参加いただきました。短時間で子ども達と共に美しい校内環境にさせていただきました。ありがとうございました。



ボッチャを体験（5、6年生）

障害者理解につなげてほしいと、奈良県人権擁護委員の皆さんが本校を会場にボッチャの体験を通した人権教室を開催してくださいました。本校の5年、6年が参加しました。

ボッチャとは、赤と青の二チームに分かれ、的となる白いボールに、車いすに乗ったまま自分の色のボールを転がして近づけるゲームで、パラリンピック大会の正式種目です。

競技のルールとともに、車いすの乗り方や扱い方についても教えていただきました。

いよいよ競技開始です。車いすに乗って競技しました。簡単なゲームですが、チームとしての作戦が必要で、一投するごとにチームで次にねらうコースを相談していました。



競技を終えた子ども達は、車いすに乗っての視線がちがうことや、自分の思いどおりに動けないことを知り、障害のある人もない人も楽しめるスポーツっていいなと感想を述べてくれました。オリンピックだけでなく、パラリンピックにも興味が高まったようです。

手話講座（4年）

総合学習で福祉をテーマに学習している4年生が市の社会福祉課の協力を得て、3日間に渡って手話講座を受けました。実際に聴覚障害をお持ちの方も来校していただきました。外見からは分からない聞こえない人の生活について学び、簡単なあいさつで使う手話を教わりました。また、自分の名前を手話と指文字を使って表す方法も学び、互いに自己紹介しました。



子ども達は、この手話講座に関心が高まり、最終日には、講師の先生にたくさん質問していました。

見守りありがとうございます

9月の自由参観に合わせて、警察の協力を得て連れ去りやインターネット被害を防ぐ防犯教室を、そして、日頃、子ども達の登下校の見守りをはじめ子ども達のためにご支援いただいている皆様をお招きしての感謝の集いを行いました。

子ども達の安全を守るためにPTAをはじめ、自治会、そして、自主的に見守りに立ってくださることは本当にありがたいことです。そこで、児童会から感謝状をお渡ししました。その後、各教室に分かれて児童と一緒に給食も食べていただきました。



